

リリースノート - Ki Pro Rack v6.9

Firmware update for Ki Pro Rack

全般

Ki Pro Rack ファームウェア v6.9 では、いくつかの機能改善が追加されています。潜在的な不具合回避のためにも、最新版のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com の [Ki Pro Rack サポートページ](#) でご確認いただけます。

v6.9 での修正、変更および改善点

- ・以前のバージョンにおいて見られた、Ki Pro Rack を再起動すると、プリセット番号が書き出しされるまでは個別のプリセットファイルをインポートできなくなる不具合を修正
- ・ファイル名にスペース（空白）が含まれている場合、Ki Pro Rack 自体からそのクリップを取り出せない不具合を修正

ファームウェアアップデート時の注意点

- ・ファームウェアのアップデートを行う前に、CONFIG メニューで工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ファームウェアのアップデートを行った場合、Web ブラウザ (Safari、FireFox など) と Ki Pro Rack との接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・Ki Pro Rack で収録したクリップを Final Cut Pro 7 に読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なく Final Cut Pro 7 で使用できます。
- ・Telestream 社 Vantage の “Flip64” プロセッサーで作成されたクリップは、Ki Pro Rack では認識されません。回避策として、Telestream 社 Vantage の “Flip” プロセッサーをご使用ください。
- ・Ki Pro Rack で収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前には Ki Pro Rack が停止状態にあることを確認してください。